

# りんじきゅうこうちゅう たよ 臨時休校中のお便り

～ とうほうだいしょうがっこう  
東豊台小学校のみなさんへ ～

令和2年(2020年)5月12日  
豊中市立東豊台小学校  
校長 瀧田 益大

## 風薫る5月に思いを馳せて

今週から、国と府の指針のもと、学校再開の前段階としての分散登校がスタートしました。今週は全学年、1週間に1回の登校ですが、タイミングを見て、今後の5月中に1週間に2回の登校に切り替えていきます。

さて、あっという間に、春も終盤を迎え、初夏を思わせる新緑の季節がやってきました。ここ数日は、暑さでマスクが蒸せてしかたありません。そんな中、朝と昼、新緑の中を登校する児童たちを正門で迎える中で、児童たちや先生、学校、地域などに対していろいろな思いが湧いてきます。

私は4月下旬から5月上旬の新緑の季節が大好きです。なぜかというと春の花、秋の紅葉もいいですが、新緑にはそれらに劣らぬ魅力があります。花や紅葉の魅力は何ととってもその美しさにありますが、新緑の魅力は、そのもえいずる新鮮さと力強さにあると感じます。「もえる」という字は、漢字で書くと「萌える」と「燃える」になり、前者は芽ぐむ、後者は火がもえるという意味になります。

子どもたちへの学力の芽ぐみ・育み。それに向かう先生のもえる気持ち・情熱。それらの行いを日々営まれる学校の再開が待たれてなりません。



5月12日 朝 東門(正門)前にて撮影